

すやけマ

長野原高等学校発行

長野原町大字与喜屋21-1

電話0279(82)2388

FAX0279(82)2810

第6号 (通算125号)

平成24年12月21日(金)

長高は今年60周年!

沖縄の歴史と自然を体感

11月13日(火)から出発し、3泊4日の日程で沖縄修学旅行へ行ってきました。そこで、修学旅行へ行ってきた生徒の感想をここでは紹介したいと思います。

〈生徒の感想文〉

修学旅行に行つて2学年全員でたくさん「学び」がありました。

一日目の平和講話では戦争のことや戦争後の体験など本当は話したくない話をしてくれて、すごく感動しました。それに講話の最後に話してくれた「くじけたり、あきらめたりしないこと。あと一歩進む。そこから生きる力が生まれる。」と話してくれたとき、私は、なかなかあと一歩進むことができせん。この言葉を活かしてこれから一歩を踏み出して行きたいです。

また、平和祈念公園やひめゆりの塔に行つて、戦争に関する写真をみました。みるだけでとても悲しくなり涙が出そうでした。糸数壕では、真つ暗なところで生活していた人や病人などがいたと考えると本当に怖くなりました。戦争をした人がこんなにも辛い思いをしたと思うと私だつたらと思えます。

2学年全員が団結して帰つてくれたことです。「全員がマナーを守れたこと」、「やるときはちゃんとできること」、私はこの学年だからできたと思います。みんな最高の思い出を作れたと思います。

これから、私はあたえられたチャンスを活かして、学年全員では新たな一歩を踏み出して行きたいと思えます。

一組 水出 花咲音

高校最後の旅行は レトロモダン浅草

去る11月16日、3年生は東京浅草方面へ日帰り旅行に行つてきました。当日は6時半に長野原草津口駅を出発し、渋川駅までは各地で最寄りの生徒を拾い、高速道路を使って東京に向かいました。

最初の見学地は「江戸東京博物館」でしたが、到着時間が予定より大幅に遅れ、駆け足での見学(約40分間)となりました。広い館内で興味深い展示物も多くありましたが、ゆっくり見学できなかったのが残念でした。

向かいました。そこからは班別自由行動となり、生徒たちは仲見世を散策したり、「花やしき」(遊園地)に行ったり、中には東京スカイツリー直下の「フアラマチ」にまで足をのぼした班もありました。観光客が多かった返した中でも、集合時間に遅れた班は1つもなく立派でした。

東京の古き良き伝統や文化と時代の最先端のものを満喫でき、また友達との友情も深められ、とてもよい旅行でした。生徒一人一人にとってきつと高校時代のよい思い出となったことでしょう。



首里城にて

12~H25. 3月の予定

- 12/ 7(金) 図書館一般開放・読み聞かせ
- 21(金) 終業式 図書館一般開放
- H. 25
- 1/11(金) 始業式 図書館一般開放
- 17(木) 基礎学力テスト
- 25(金) 図書館一般開放
実用英語検定(1次)
日本漢字能力検定
- 2/ 1(金) 3年卒業考査~6日(水)
- 8(金) 予餞会 図書館一般開放
- 22(金) 図書館一般開放・読み聞かせ
- 25(月) 学年末考査(~28日(木))
- 3/ 1(金) 卒業式
- 22(金) 終業式 図書館一般開放



東京スカイツリー



浅草寺の見学

働くことって
本当に大変だな〜

一学年は、11月13日から15日の3日間で、インターンシップを実施しました。

多くの生徒にとつて最大の収穫は、自分は何が苦手で、何ができないかについて、考える良い機会になったということだと思います。そして、仕事の「現場の雰囲気」を味わうことができたのも、将来に向けての貴重な糧となったでしょう。

インターンシップとはいえ、職場の「厳しい人間関係」の一端に触れることができた生徒もいました。参加した生徒たちの間では、職業理解やそれぞれの進路を考える際にとっても参考になった、という意見が聞かれました。



まき割りも体験しました

音楽の森国際コンサートホール

♪ グリンカ・チャイコフスキー・ベートーヴェン ♪

11月7日(水)に草津音楽の森国際コンサートホールで、群馬交響楽団による音楽鑑賞教室が行われました。

群馬県の高校では3年に1度、群馬交響楽団の演奏を聴く機会が設けられオーケストラの生の演奏に触れることができます。

当日のプログラムでは、グリンカ作曲「ルスランとリュドミラ序曲」、チャイコフスキー作曲「やるみ割り人形」、ベートーヴェン作曲「交響曲第7番」が演奏されました。CMやドラマで使われた聴いたことのある曲があったり、

ハープやチェレスタなど普段あまり見ることのない楽器の演奏があったりと、趣向を凝らした演奏会でした。

休憩後には、指揮者からオーケストラや楽器についてのお話があり、さらに関心をもって聴くことができました。すばらしい演奏に客席全員が聴き入って、最後はアンコール後も拍手が鳴り止まないほどでした。是非機会があれば、今後もうこうした音楽に触れていってほしいと思います。



群馬交響楽団による演奏の様子

“AIDS” GOES ON...

～エイズは続いている～

12月1日は、世界エイズデーです。世界エイズデーは、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的としています。

本校では、毎年12月上旬にエイズキャンペーンを行っています。今年も浅間酒造さんや保健福祉事務所の方々の協力を得て、キャンペーン活動を行いました。住民や観光客の方へメッセージカードとレッドリボンなどを配りました。

12月4日(火)のキャンペーン当日は、寒い中で保健委員の生徒達が一生懸命活動していました。受け取った方からは「がんばってね」と温かい声をかけていただきました。

今年の世界エイズデーキャンペーン

インターマは「AIDS GOES ON...」エイズは続いている」です。流行が拡大しているにもかかわらず、エイズに対する社会的関心は大きく低下していることからこのテーマになったそうです。エイズに関する正しい知識やHIV陽性者への理解が社会全体に広がることによって予防意識の向上や差別・偏見の解消につながるのです。

エイズは自分には関係ないと思わないで、大切な人を守るために自分が今できることを、世界エイズデーをきっかけに考えてほしいと思います。



レッドリボンとパンフレットを配布する生徒たち

